ゼラチン

純度試験(2)，(3)及び(4)の項を次のように改める．

純度試験

（２） 鉄　本品5.00 gを共栓フラスコにとり，塩酸10 mLを加え，密栓し，75～80 ℃の水浴中で2時間加熱する．必要ならば，溶解を適切に行うために，塩酸を加えた後，放置して本品を膨潤させる，加熱時間を長くする，又は加熱温度を高くすることができる．冷後，水を加えてフラスコの内容物を100.0 gとし，試料溶液とする．別に本品5.00 gずつを3個の共栓フラスコにとり，試料溶液と同様に操作し，原子吸光光度用鉄標準液(2) 10 mL，20 mL及び30 mLをそれぞれ正確に加え，水を加えてフラスコの内容物をそれぞれ100.0 gとし，標準溶液とする．なお，添加する標準液の量は使用する機器の感度に応じて適宜調整することができる．試料溶液及び標準溶液につき，次の条件で原子吸光光度法〈2.23〉の標準添加法により試験を行い，鉄の含量を求めるとき，30 ppm以下である．

使用ガス：

可燃性ガス　アセチレン

支燃性ガス　空気

ランプ：鉄中空陰極ランプ

波長：248.3 nm

（３） クロム　(2)の試料溶液を試料溶液とする．別に本品5.00 gずつを3個の共栓フラスコにとり，試料溶液と同様に操作し，原子吸光光度用クロム標準液0.25 mL，0.50 mL及び0.75 mLをそれぞれ正確に加え，水を加えてフラスコの内容物をそれぞれ100.0 gとし，標準溶液とする．なお，添加する標準液の量は使用する機器の感度に応じて適宜調整することができる．試料溶液及び標準溶液につき，次の条件で原子吸光光度法〈2.23〉の標準添加法により試験を行い，クロムの含量を求めるとき，10 ppm以下である．

使用ガス：

可燃性ガス　アセチレン

支燃性ガス　空気

ランプ：クロム中空陰極ランプ

波長：357.9 nm

（４） 亜鉛　(2)の試料溶液を試料溶液とする．別に本品5.00 gずつを3個の共栓フラスコにとり，試料溶液と同様に操作し，原子吸光光度用亜鉛標準液7.5 mL，15 mL及び22.5 mLをそれぞれ正確に加え，水を加えてフラスコの内容物をそれぞれ100.0 gとし，標準溶液とする．なお，添加する標準液の量は使用する機器の感度に応じて適宜調整することができる．試料溶液及び標準溶液につき，次の条件で原子吸光光度法〈2.23〉の標準添加法により試験を行い，亜鉛の含量を求めるとき，30 ppm以下である．

使用ガス：

可燃性ガス　アセチレン

支燃性ガス　空気

ランプ：亜鉛中空陰極ランプ

波長：213.9 nm